

～ 木質ペレット普及促進に向けた研修会～

【日 時】2018年10月25日(木)～26日(金)

【場 所】真庭リバーサイドホテル 〒719-3111 岡山県真庭市開田 620 TEL 0867-52-1521

【研修会内容】

◆1日目 25日(木) 15:00～ 研修会

●15:00～ 開会挨拶 岡本会長

～15:10

ご来賓の挨拶 銘建工業株式会社 代表取締役 中島浩一郎 様

●【講演】

① 15:10～15:40 「バイオコークスの基本特性と普及促進に向けて」

近畿大学理工学部機械工学科 教授 澤井 徹 様

② 15:40～16:10 「銘建工業の取り組み」

銘建工業株式会社 総務部長 中島 洋 様

③ 16:25～16:55 「真庭木材事業協同組合の取り組み」

真庭木材事業協同組合 木材事業部 部長 高下 貴史 様

④ 16:55～17:25 「真庭市のバイオマス取り組み」

真庭市役所 林業・バイオマス産業課 上級主事 田村 奨太 様

●17:25 閉会挨拶 山本副会長

《閉会后、懇親会準備の間休憩》

●18:00～ 懇親会 真庭リバーサイドホテル 「レセプションルーム」

◆2日目 26日(金) 8:30～ 現地視察 ※8:20 ホテルロビー集合

① 9:00～09:30 真庭バイオマス集積基地

② 9:30～10:00 真庭バイオマス発電所

③ 10:00～10:30 銘建工業 CLT 工場

④ 10:40～11:10 真庭市役所 ※庁舎とペレットサイロの見学

⑤ 11:25～11:55 真庭市中央図書館

※CLT を使用した木造建築例と、ペレットボイラ等の見学

12:15～13:00 《昼食》あぐりガーデン

【参加者】22名

〔真庭市の概要〕 -真庭市公式ホームページより-

総面積は約 828k m² ※東西に約 30km、南北に約 50km
岡山県の約 11.6%を占める県下で最も大きな自治体
森林率：約 79 %
人口：45,839 人 ※30年 10月 1日現在

◎岡本会長 開会の挨拶

今回の研修会に多大なご協力をいただいた、銘建工業様、真庭森林事業協同組合様そして真庭市役所様にお礼を申し上げます。

特に今回の研修会で現地見学をさせていただき、CLT 工場を始めとしてバイオマス発電、ペレットの活用現場など、常に時代に先駆けて新しい取り組みをされている歴史ある銘建工業様に感謝申し上げます。

日本のペレット業界は、ここ最近発電用のペレット工場の建設が行われていますが、民生用としては依然として厳しい現実が続いており、欧州のレベルになるためには地道な改革と時間が必要です。

当協会としては、優良なペレットをいかに普及させていくか、ということを目指し日々活動しており、需要拡大と共にペレットの JAS 規格化によるペレット品質の向上への取り組みを行っています。今後ますます会員皆様方のご理解とご支援をお願いしていく次第です。との開会の挨拶で研修会は始まった。



◎ご来賓の挨拶 銘建工業株式会社 代表取締役 中島浩一郎 様



ヨーロッパにおける木質ペレットは 1 兆円の市場になっており、世界の木質ペレット生産量は、約 3000 万トンに至っている。それらは、ヨーロッパにて主に消費され、木質ペレットは、ヨーロッパにおいてはエネルギーとして位置づけられている。日本の生産量は、12 万トン程度であり、木質ペレットの市場拡大が必要である。そのため、木質ペレットが燃料として利用されるには、リーズナブルなコストと高品質が求められている。との海外のペレット市場に見識が深い中島社長から日本のペレット業界にエールをいただいた。

◎「バイオコークスの基本特性と普及促進に向けて」

近畿大学工学部機械工学科 教授 澤井 徹 様

内 容

1. バイオコークス研究所概要
2. バイオコークスの基本特性
石炭コークス代替バイオ固体燃料
非炭化機能性燃料
 - 機械的耐久性
 - 高温雰囲気下における耐久性の持続性
 - 長期間貯蔵性
3. バイオコークスの標準化

近畿大学におけるバイオコークス研究所の取組を始めに、次世代のバイオエネルギーとして「バイオ固体燃料に要求される機能の研究」、また、「バイオコークス化による放射性物質に汚染された有機物の減容・安定化の実証と減容化による輸送効率の

向上と安全性及び経済性の検証」など、バイオエネルギーの将来を見据えた研究は、興味深い内容であった。



◎「銘建工業の取り組み」

銘建工業株式会社 総務部長 中島 洋 様



1923年創業より製材から集成材へ、そしてCLT*へと事業を展開し、かつ、1984年からは木質バイオマス発電を立ち上げるなど、常に真庭を基幹とした木材の活用に取り組んでこられた企業として、たゆまぬ努力の歩みが強く感じられた内容であった。

*《cross-laminated-timber》



◎「真庭木材事業協同組合の取組み」

真庭木材事業協同組合 木材事業部 部長 高下 貴史 様



1950年の設立以来、木を無駄にしないとの信念から、地元の素材生産者や山主さん達とガッツリとタックルを組み『木を使い切る』システムの重要拠点として活動されており、バイオマス発電所の燃料生産「真庭バイオマス集積基地」、また、林業及び、木材産業地域の活性化、地域住民の文化の創造、コミュニティーの場としての「勝山木材ふれあい会館」など、地場産業の礎として発展されてきたことがよく分った内容であった。



◎「真庭市のバイオマス取組み」

真庭市役所 林業・バイオマス産業課 上級主事 田村 奨太 様



平成17年3月31日、9町村が合併し「真庭市」が誕生し、多彩性を生かした広域行政「ひとつの真庭」として自立を推進している。しかし、人口減少・少子高齢化、交付税特例措置の廃止対応や公共施設の統廃合等々、課題は残る。そこで、林業・木材産業を基盤として、発生する副産物を多角的（エネルギー・マテリアル）に活用するなど、異業種を含めた産業連携を築き、地域産業の活性化（持続的な発展）や循環型社会の形成を図ることを目標とした「木質資源活用産業クラスター構想」（平成13年度）を立ちあげ、**“バイオマス産**

業都市・真庭”を官民一体で目指しているところであることが、詳細な資料で分かる内容であった。



◎真庭木材事業協同組合 バイオマス集積場

- ・真庭市の製材所や森林整備で発生する木材が集積され、真庭バイオマス発電所や岡山県内の発電所の原料として、供給されている。原材料は、天日干しによる自然乾燥がされている。



高下 貴史さん



◎真庭バイオマス発電株式会社

- ・2015年3月から稼働し発電規模は、10MWで22,000世帯に電力供給が可能である。原材料は、15社から納入され、真庭木材事業協同組合からは、3~4,000m³/年が納入。



松原 瑞浦さん



◎銘建工業株式会社 CLT工場

- ・板材の乾燥は、樹種により杉材で10日、桧材で5日間行い、板材は8~12mの加工が可能である。



手島 楓さん



◎真庭市役所

- ・市役所のアプローチは、九つ（9町村が合併）の木組み構造が印象的である。

展示を兼ねたボイラー機械室には、木質のペレットとチップの2種類のボイラーが導入され、燃料の貯蔵はトラックによる搬入を考慮したピット式が採用されている。



◎真庭市中央図書館

- ・CLT 材をふんだんに利用した公共施設であり、展示を兼ねた機械室には、木質ペレット燃料による館内の冷暖房を行う機器が設置されている。燃料の貯蔵は市役所と同様にピット式が採用されている。



地域資源循環で未来の暮らしを創る「バイオマス産業都市“真庭”」の交流観光

バイオマスツアー

Biomass Tour MANIWA

まにわ

真庭

森と自然と地球と暮らす
真庭へ行こう。

バイオマスツアー真庭
おかげさまで
10周年
を迎えました
since 2006

再生可能エネルギーや地域資源循環による持続可能な暮らしへの
チャレンジをご覧いただく交流型産業観光です。地球と地域の将来を
考える多くの方々が出会い、新たなアイデアが生まれるツアーとして
これからも発展させてまいります。



- ▶ ツアー実施
 毎年実施(平日) / 最少催行人員:10名 添乗員:同行
- ▶ 集合・解散場所
 真庭市役所・JR中国勝山駅(団体の場合は真庭市内宿泊地も可)
- ▶ 宿泊
 各コース料金に含まれません。ご希望の方には地域内の旅館・
 ホテルを当ツアー専用プランでご案内します。

▶ ツアーコース詳細
 見学先詳細はHPもご参照ください。

- 基本コース
 - ▶ **Aコース** 木質バイオマスコース
 時間10:30~16:30 料金8,000円
 - ▶ **Bコース** バイオマス循環農業コース
 時間10:30~16:30 料金8,000円
- 2日間専用オプションコース
 1日目にAまたはBコースにご参加の方の2日目専用コースです。



Offset 66g-CO₂
この製品から発生するCO₂は
真庭観光局の真庭市内クレジットを
活用してオフセットされています。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.biomass-tour-maniwa.jp/>

バイオマスツアー真庭

検索